

第 8 回機関リポジトリ推進委員会議事要旨

1. 日時：平成 27 年 5 月 15 日（金）13:30～16:30

2. 場所：学術総合センター 19 階 会議室

3. 出席者：

（委員）

| | |
|--------|--|
| 富田 健市 | 北海道大学附属図書館 事務部長 |
| 行木 孝夫 | 北海道大学大学院理学研究院数学部門 准教授 |
| 江川 和子 | 筑波大学附属図書館 副館長 |
| 尾城 孝一 | 東京大学附属図書館 事務部長 |
| 杉田 茂樹 | 千葉大学附属図書館利用支援企画課 課長 |
| 森 一郎 | 新潟大学学術情報部学術情報管理課 課長 |
| 島 文子 | 京都大学附属図書館 総務課長 |
| 池田 大輔 | 九州大学大学院システム情報科学研究所 准教授 |
| 大前 富美 | 大阪府立大学学術情報センター学術情報室 主査 |
| 菊池 亮一 | 明治大学学術・社会連携部・図書館総務事務室 事務長 |
| 佐藤 翔 | 同志社大学免許資格課程センター 助教 |
| 安本 裕和 | 関西学院大学図書館 事務部長 |
| 山地 一禎 | 国立情報学研究所学術ネットワーク研究開発センター（コンテンツ科学研究系） 准教授／学術リポジトリ推進室長 |
| 細川 聖二 | 国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課 課長 |
| 高橋 菜奈子 | 国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課副課長 |

（陪席）

| | |
|-------|---------------------|
| 酒井 清彦 | 国立情報学研究所 学術基盤推進部・次長 |
|-------|---------------------|

（事務局）

| | |
|-------|----------------------------------|
| 前田 朗 | 国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課 係長 |
| 増山 廣美 | 国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課 事務補佐員 |

（欠席）

| | |
|-------|------------------------|
| 山本 和雄 | 横浜国立大学図書館・情報部図書館情報課 課長 |
|-------|------------------------|

< 配付資料 >

第 8 回機関リポジトリ推進委員会出席者名簿

- 1 第 7 回機関リポジトリ推進委員会議事要旨
- 2 平成 27 年度のメール審議の経過について
- 3-1 平成 27 年度機関リポジトリ推進委員会活動計画（第 9 回連携・協力推進会議資料）
- 3-2 平成 27 年度 WG 予算案
- 3-3 平成 27 年度機関リポジトリ推進委員会協力員（案）
- 3-4-1 コンテンツ WG 活動計画（案）
- 3-4-2 オープンサイエンス班の活動について
- 3-4-3 第 11 回学術情報ソリューションセミナーへの講師派遣のお願い
- 3-4-4 博士論文のインターネット公表化に関する現状と課題（報告）

- 3-5-1 国際連携 WG 活動計画 (案)
- 3-5-2 出張報告 (案) COAR-SPARC Conference 2015 参加およびミーニョ大学訪問調査
- 3-6 技術 WG 活動計画 (案)
- 3-7 Open Access に関するアジアでの活動について
- 4 学術基盤オープンフォーラム 2015 プログラム (案)

<参考資料>

- 1 オープンアクセスに関する政府の検討状況について (情報提供)
- 2 初任者研修と JAIRO Cloud 講習会の合同開催について
- 3 平成 26 年度機関リポジトリ推進委員会活動報告 (第 9 回連携・協力推進会議資料)
- 4 大学の知の発信システムの構築に向けて
- 5 機関リポジトリ推進委員会規程

4. 議事：

議事に先立ち、各委員による自己紹介が行われた。

(1) 委員長選出

機関リポジトリ推進委員会規程に基づき、富田委員が推薦され、満場一致で委員長に選出された。

(2) 第 7 回議事要旨 (報告)

配付資料 1 について確認し、原案どおり承認された。

(3) メール審議の経過について (報告)

委員の平成 26 年度末の任期満了から、平成 27 年度の委員委嘱が完了するまでの喫緊の案件について、配布資料 2 のとおり委員長代理を定め暫定的対応を行ったことの報告があった。また、事務局より、暫定対応を今後避けるため、大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議に会議規定案の提案を考えている旨、補足説明があった。

メール審議で議論が完結しなかった、機関リポジトリ推進委員会の各 WG で広報担当を置き、委員会 Web サイトの編集権限を与える件について、提案どおり了承された。

(4) 平成 27 年度の機関リポジトリ推進委員会の活動について (審議)

1) 平成 27 年度の活動内容と本委員会と WG の分担

富田委員長より、2 月の大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議において、配布資料 3-1 のとおり平成 27 年度委員会活動計画案の了承を得ていることの説明があった。第 7 回委員会にて議論を開始した今後の機関リポジトリコミュニティについて、WG ではなく本委員会で取り込むことについて了承を得た。また、新たに課題として上がってきた内閣府のオープンサイエンス方針への対応については WG による活動も計画されているが、本委員会としてもフォローを行うこととした。

2) 平成 27 年度 WG メンバーについて

富田委員長から、配布資料 3-1 のとおり WG メンバーの委嘱手続きを進めている旨の説明があった。

3) WG 活動計画について

富田委員長から配布資料 3-3 のとおり予算案の説明があった。また、WG 主査により、それぞれ配

布資料（コンテンツ WG[配布資料 3-4-1～3-4-4]、国際連携 WG[配布資料 3-5-1～3-5-2]、技術 WG[配布資料 5]）にもとづき、活動計画の報告があった。また、山地委員から、配布資料 7 にもとづき、アジアのオープンアクセス関係者の連携のための活動について、説明があった。この説明を受け、次の議論を行った。また、オープンサイエンスにおける図書館の役割について意見の交換を行った。

- ・各 WG の当面の活動案及び配布資料 3-2 の予算案について了承された。
- ・現在の 3WG 間で活動が重複している部分があるため、WG の再編案を委員長・WG 主査・事務局で検討することになった。主な意見は次のとおり。
 - 委員会の承認の下で WG が活動する体制にしたい。
 - 委員長と WG メンバー（協力員）の間にマネジメントを行う人員は必要。
 - WG 再編は、トピックベースや時限付のタスクフォースのような形もあるのではないか。
 - 国際連携 WG の実質の活動が海外派遣 WG になっている。海外の議論に参加するなど国際連携ができないか。
 - WG 再編は、「大学の知の情報発信システムの構築に向けて」の「3. 戦略的重点課題」及び「4. 当面の検討課題」をベースに考えてはどうか。
 - WG 間で横断的に活動ができるようにしたい。
- ・配布資料 3-4-4 「博士論文のインターネット公表化に関する現状と課題（報告）」について、委員の確認期間(1 週間)を経て異論がなければ、Web で公開することになった。
- ・配布資料 3-5-2 「出張報告（案）COAR-SPARC Conference 2015 参加およびミーニョ大学訪問調査」の Web 公開について了承された。
 - ・アジアのオープンアクセス関係者の連携について、まずは予算のかからないメールベースのやりとりからはじめ、状況をみながら進めることについて了解された。

(5) 今後の機関リポジトリコミュニティについて（意見交換）

高橋委員から、第 7 回委員会に引き続き本委員会でこの議題を取り上げるにあたり、事務局で事前に行った打ち合わせについて報告があった。このことについて意見の交換を行ない、次のことを決めた。

- ・全日本の機関リポジトリのコミュニティの新設について、本委員会で検討を開始する。
- ・コミュニティの設立手順について、委員会の中でメンバーを募り検討を行う。

(6) 学術基盤オープンフォーラム 2015 プログラム案について（報告）

配布資料 4 にもとづき、学術基盤オープンフォーラム 2015 のプログラム案について、報告があった。委員会として、学術基盤オープンフォーラム 2015 に協力することについて、了承された。

(7) その他

次回は 10 月の開催の予定

以上